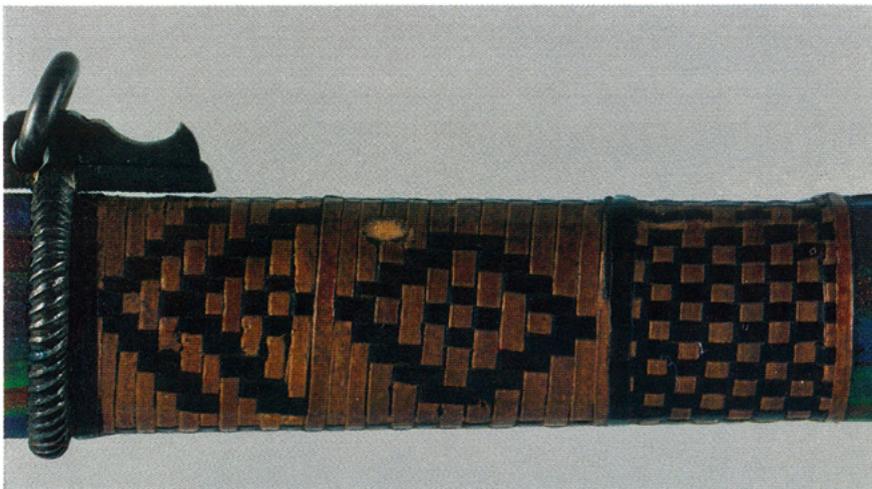




北倉 3 御書箱 (上) 身外底面部分
(下) 身内底面部分

2 倍



中倉131 樺纏把鞘白銀玉虫荘刀子 鞘樺纏部分

3 倍

北倉三

御書箱の菱文

寸法 横三・五厘
縦〇・七厘

御書箱の身の底面の文様一個の外側と内側の拡大写真である。外側の文様は明らかに上半部が鮮かな紅色で下半部は色がやや薄い。内側の文様もややその感がある。計画的な染色であれば誠に美事なデザインであると思われる。そして文様を先ず単独に編み込みそれから全面の平編を編んだか、又は後から文様を編入れたか確定は出来ないが、何れにしても一個づつ表現したと思える。内側の文様に編み止めの部分が各文様確認される。
(飯塚小玕齋)

中倉一三二

樺纏把鞘白銀玉虫荘刀子の部分

鞘の鯉口より二・五厘―五厘程の部分の拡大写真である。左よりはじめに玉虫装飾が少しみえ、次に銀吊金具・カギ形文・小花文・菱文・市松文、右はしに玉虫装飾がまた少し見える。編組の材料巾一耗―〇・六耗と非常に繊細なもので黒紫色の材は桜皮とは確認出来ない。褐色材は針葉樹系の材らしく非常に薄く作られている。全て接着剤で貼られ、その上から漆らしき塗料で塗装されている。

(飯塚小玕齋)



No. 2 新28 白地集花葉文錦
縮尺約2/3



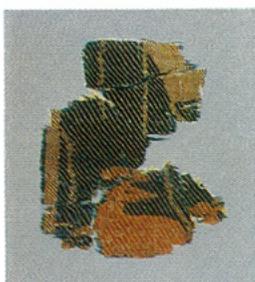
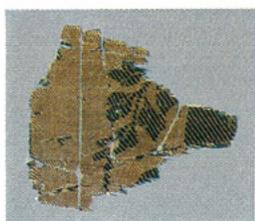
No. 1 新24 赤地麒麟唐花文錦

縮尺約1/3



No.3 新25 紫地唐草鳥獸文錦 (A)

縮尺約1/4



No. 5・6 新40 白茶地花葉鹿
文錦 (2片) 縮尺約2/3



No. 4 新25 紫地唐草鳥獸文錦 (B)

縮尺約1/4



No. 7 新35 赤地花唐草狩獵文錦

縮尺約1/2



No. 9 新36 双鳥花文長斑錦

縮尺約1/2



No. 8 新29 黃地唐草花文錦
縮尺約2/3



No.10 新31 紫地亀甲花文錦

縮尺約1/2



No.12 追補 2 紫地花文錦
(2片) 縮尺約1/2



No.11 新26 赤・白交地唐草櫻花文錦

縮尺約1/2



No.13 新37 淡黄地経緝文平織物

縮尺約2/5